

おおごえでいいいたい。

届けます!  
町の元気。

町の声に耳をすませば、聞こえてきます、パワーにあふれた“町の元気”。それぞれが、それぞれの想いで頑張る、町の素顔。この元気が、明日のおおごえの源です。

私は長い間、他県に住んでいたのですが、帰郷してから地域に便利な店をと、父から受け継いだ雑貨店をコンビニエンスストアに変えました。久し振りに町に根を下ろして思ったのは、特に商売においてですが、「目玉になるような商品がない」ということでした。商工会にも顔を出すようになって、そこで出会った仲間たちと開発したのが、か

#### 【商業】

町おこしのために開発した  
鬼ラーメン。  
町のイベントでも好評です。



吉田 徹さん  
まるたや商店経営

らしみそ味の「鬼ラーメン」。高速道路のパーキングや、町のイベントには地元産米を使った清酒「高柴山」とともに、販売や出展をしています。この商品の開発で感じたのは、互いに信頼できる組織で、インパクトのある事業を継続していくパワーです。イベントにせよ、特産物にせよ、ふるさとを想う人があってこそその元気ですからね。

私は、米づくりや野菜づくりを中心にした兼業農家です。ほかにもイワナの養殖を手掛けています。この川は阿武隈川の上流で、とてもきれいだ。だから幻の魚といわれるイワナが育つんです。イワナを手掛けたのは、この町らしい特産物を作りたいから。今は、イワナの燻製づくりにチャレンジしているんです。それにここは、高冷地ですよ。

#### 【農林業】

大越ならではの産品を  
たくさんの人に  
見て欲しい。



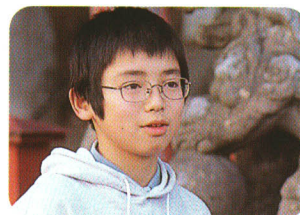
半谷 承平さん  
農業

イワナだけではなく、若い農業後継者たちが一体になって、大越ならではの高原野菜を他の地区に先駆けて出荷できると思っています。どんどん新しい産物を作って、新しい販路を広げていけば、大声で「大越ってこんなところだ」といえますよね。町の元気がそんな小さなヤル気から始まるんじゃないでしょうか。

入三洞三匹獅子舞は、氏子の長男が踊るんだ。でも、下手だとおろされちゃった。祭りが近くなると、15日前から学校が終わったあとにみんなが集まって練習をする。踊りは振り写しで覚えるから大変。ぴよんぴよんと飛び跳ねる獅子の動きを表現するのが難しいんだ。はじめはなかなか覚えられなかったな。それに、見て伝えていくでしょう。

#### 【歴史文化】

振り写しで覚える伝統芸能。  
踊るのは大変だけど、  
おもしろい。



遠藤 勇作くん  
下大越小学校 6年生

だから、お父さんは僕の代になってから獅子の動きを形に残すための記録をはじめた。僕が舞うのは今年で4回目。頑張って太郎獅子、次郎獅子、そして雌獅子の3匹の獅子、全部踊ったよ。来年…？次の子が育つまで、僕もこれ以上身長が伸びなければ踊るかもしれない。大丈夫だよ。踊るのは大好きだから。